

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		6-	5
事業名	塵芥処理経費	会計 一般	款 4
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	項	2
施 策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	目	1
		課名	みらい環境課
		係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集する。 また、粗大ごみについては、各学校区別に年4回の搬入日を指定し、個人が家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分する。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	町民1人あたりのごみ排出量	174	175		kg/年	↓
2	不法投棄件数	66	92		件/年	↓	↓
3							
4							
5							
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)	令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B		267,726		262,833	304,431		
財源内訳	直接事業費 A	264,954		258,345	299,943		
	うち一般財源	242,039		223,387	275,740		
人件費(千円) B		2,772		4,488	4,488		
内訳	一般職員(人・千円)	0.42	2772	0.68	4488	0.68	4488
	臨時職員(人・千円)		0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	ごみ収集業務が滞りなく実施できるよう環境整備を行う。また、ごみ集積所設置補助金は集積所の維持管理に必要な支援として継続していく。	③取組の課題	特になし
②R4年度に実施した取り組み	住民の利便性向上のため、粗大ごみの平日受け入れを開始した。	④今後の改善計画	ごみの排出量削減や不法投棄減少のため、効果的なインセンティブの導入を検討する。